

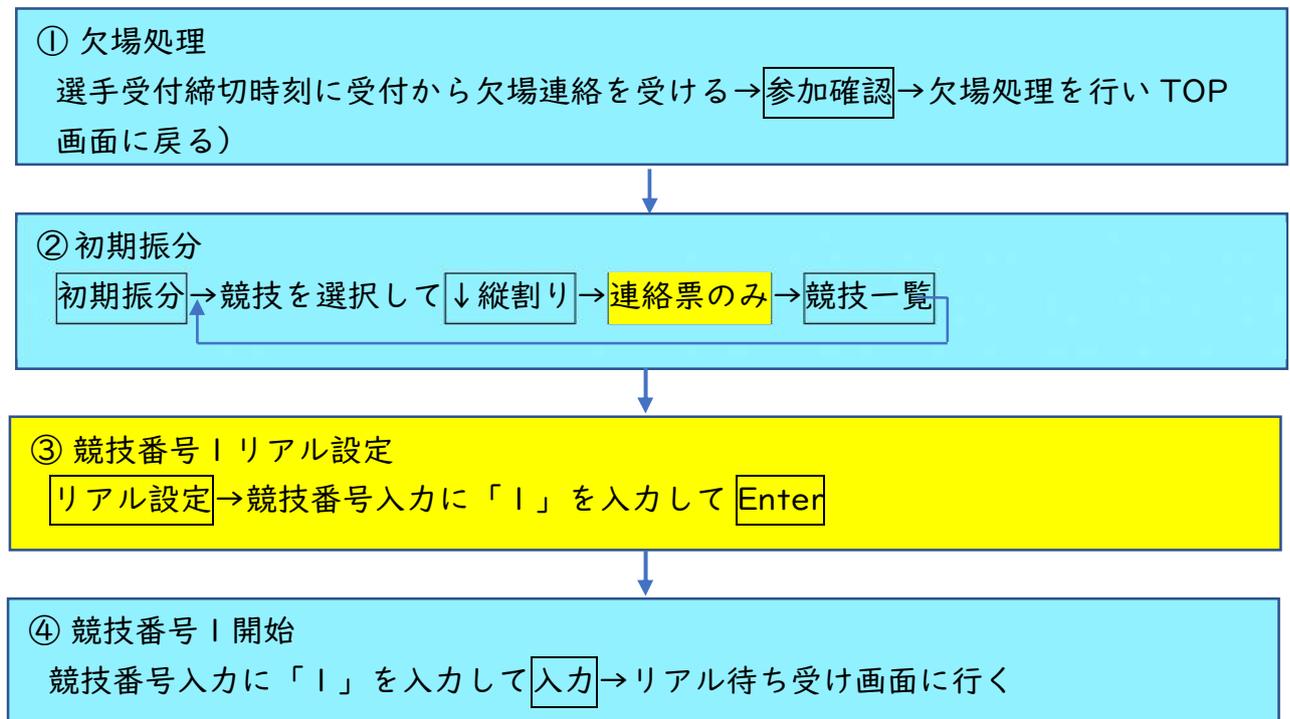
リアルタイム採点システムを用いた競技会運用のフローチャート

(黄色部分はリアルタイム特有の操作、青色部分は従来と共通の操作)

1. 事前動作確認 (競技会前日または当日の本番前)

- ① ルーターの電源 ON
- ② ルーターと PC を LAN ケーブルで接続
- ③ PC 電源 ON
- ④ 送受信システムの設定 (送受信システムを起動→Ready for Start? をクリック→送受信システムの↑変更をクリックしてフォルダー設定し監視画面へをクリック)
- ⑤ 支援システムの設定 (支援システムを起動→メンテナンス をクリック→リアルタイム使用の有無を「使用する」に変更)
- ⑧ 審査端末の動作確認 (全ての審査端末について、電源 ON→桜マークをタップ→カウントダウン数字をタップ→File Maintenance をタップ→ファイルが残っていればALL) にチェックを入れて Del をタップ→画面左上を1秒以上長押し→Go Business をタップ→Go Next をタップ→競技番号1が表示されていることを確認し Return をタップ)

2. 最初の欠場処理～初期振分～競技番号1の開始



3. 競技番号 | 開始後～準決勝（予選）のルーチンワーク

⑤ リアル待ち受け

審判員記号 ■■■ が全て緑 ■■■ に変われば音楽スタートの合図→審査結果が送信されるとチェック数確認枠が赤 ■■■ から青 ■■■ に変わりチェック数が表示される→最終ヒートの審査画面を全審判員が開いたとき「次競技番号移行→***」が表示されるので「はい」→全種目の審査が終了すると「確認 OK」

⑥ 結果処理

参加数/ヒートが許容数を超過していないことを確認して「目視確認」、縦割りになっていることを確認して「目視確認」、「連絡票まで」を右クリック

次は決勝

次も予選

4. 決勝戦のルーチンワーク

⑦ 決勝戦リアル待ち受け

審判員記号 ■■■ が全て緑 ■■■ に変われば音楽スタートの合図→審査結果が送信されるとチェック数確認枠が赤 ■■■■■■ から青 ■■■■■■ に変わり順位が表示される→最終種目の1つ前で半数の審査員が審査画面を開いたとき「次競技番号移行→***」が表示されるので「はい」→全種目の審査が終了すると「確認 OK」
※ 決勝戦が始まったら、決勝進出者名簿で調べた枚数の賞状用紙を準備しておく

⑧ 賞状印刷、決勝結果処理

賞状印刷 → 賞状用紙をプリンターにセット → 別性2枚 → TOP画面 → 印刷 → 戻り

次は予選

終了

次も決勝

⑨ 報告処理

TOP画面で「報告処理」→「Html」でHPデータを作成し、「一括出力」で報告書を印刷

5. 競技途中の欠場処理、初期振分

競技会途中の選手受付締切で欠場連絡が来れば、休憩時間、または比較的種目数やヒート数が多くて時間余裕がある予選や決勝のとき、⑤または⑦の「リアル待ち受け」からトップ画面に戻って「①欠場処理」と「②初期振分」を行い、④で現在の競技番号を入力して、現在の競技のリアル待ち受け画面に戻り、「取り込み」をクリックする。

6. 特殊なケースへの対応

※ 競技開始時に欠場が判明した場合

司会から審判員に対して、欠場者の背番号を「デフォルト処理」するよう指示し、競技後に→欠場者の番号を選択→→「■該当選手を削除します。宜しいですか？」が表示されるので→.

但し、フリーパス競技ではデフォルト処理ができないため、審判員に対して、欠場者にもチェックを入れて送信するように指示し、競技後に→欠場者の番号を選択→→「■該当選手にはチェックがはいています。取り消しますか？」が表示されるので→。(この「取り消し」は、不参加を取り消すのではなく、チェックを取り消すという意味)

※ 1種目1ヒートのみ競技の場合

「⑤リアル待ち受け」の画面に行くと、直ぐに次の競技番号がリアル設定されてしまい、審判員記号■■■で審査端末の状態を確認できなくなるため、その場合は、リアル待ち受け画面の右枠に表示される情報で確認する。

※ 同一区分の競技が連続する場合

競技が終わって直ぐに審査端末を開くと、次の競技のリアル設定が未だできていないため前の競技の審査画面が表示されてしまう。

そこで、司会から「審判員の先生方は、この競技が終わっても指示があるまでは審査端末を開かないでください」というアナウンスをしてもらうように、予め司会に頼んでおく。

そして、結果処理が終わって、次の競技のリアル設定を手動で行って（リアル待ち受け画面のを右クリックして）から、司会にOKの合図を送る。